

キャンヘルプタイランド

ネットワーク通信

2011年4月30日発行 第53号

バンコク便り

タイ・バンコク在住の西川会長から

東日本大震災より1カ月が経ちました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災はここタイでも大変大きなニュースとして各メディアに取り上げられました。外国のニュースが一面を飾ることがほとんどない当地の新聞でも一面ぶちぬきで報道され、津波が町を飲み込む様子がテレビでも連日放送されました。個人的にも、会う人、会う人に日本の家族のことを聞かれ、しばらく連絡を取っていなかった多くの友人からメールや電話がありました。

ありがたいことにタイでもあつという間に支援の輪が広がりました。地震発生から何日もたたないうちに、有名人による募金活動が始まり、矢継ぎ早に各地でチャリティーイベント、チャリティーコンサート、チャリティーマラソンなどが企画されました。寄付を募るための募金箱も主だったデパート、駅、オフィスビル、レストランなど街のいたるところに設置され、タイ外務省はじめ、タイ赤十字社、銀行、テレビ局、病院などが専用口座を開いて義援金の受け付けを始めました。キャンヘルプタイランドの奨学生からも何かできることをしたいと支援の申し出がF R E E宛てにあり、私の勤務する学校でも寄付の申し出が多くの子供からありました。タイ政府も海外の災害としては最大級の支援を決めています。こうした活動の広がりを見ると、改めてタイ人の優しさと、私たち日本とタイのつながりの強さを感じます。中には「支援しようという動きがここまで広がったのは『日本』だからだよ」というようなことを言ってくれた友人もいました。多少のリップサービスがあったとしても嬉しいものです。

また、今回の震災では、ほかの国でも伝えられているように、被災者の忍耐力や秩序だった様子に驚き、それを称賛する報道がタイでも目立ちます。3月の下旬に日本に帰国した際には、私が日本人だと知った行き帰りのタクシーの運転手、果ては入国手続きの係官にまで話しかけられ、日本への称賛と激励を受けました。

私たち日本人は多くのものを失ってしまいました。しかし、同時に私はバンコクにしながら、多くの人の優しさに触れ、励まされ、日タイの絆の太さを再確認することができました。それを「恩返し」と言ってくれる人もいますが、感謝の気持ちを忘れず、いつの日か何らかの形でその「恩返し」にお礼がしたい、と日本人の一人として思います。

西川

総 会

～2010 年度総会報告～

平成23年3月27日（日）13時より日商ビル2階会議室にて、キャンヘルタイランド2010年度総会が開催され、12名が出席しました。また、27名の方から委任状をいただき、会則による総会の定足数（平成22年12月31日現在の正会員70名の10分の1以上）を満たして総会が成立しました。そして、各プログラム担当者が2010年度の活動・会計報告と2011年度の活動計画・予算報告をし、質疑応答のあと、承認決議が行われ、全ての議案が可決されました。



今年度、春のワークキャンプでは、カサロンの家のトイレの増設、壁の塗装をしましたが、夏は人が集まらなかったため、ワークキャンプは実施しませんでした。

奨学金プログラムでは、昨年、故関本すみれさんの遺産をいただき、「すみれ基金」を発足させ、FREE財団との共同で運営していくことになりました。「すみれ基金」は大学生、短大生、専門学校生を対象とし、「教育学部」「農学部」「医療系学部」の3学部への進学と限定し、地域社会に貢献する人材育成を目的としています。

関本すみれさんのお母様は医者を目指していらっしゃったものの、ご実家には女性を医学部へ進学させる経済的余裕がなく進学を諦めなくてはならない状況でしたが、個人で優秀な学生を支援してくださる方がいらっしゃり、その方の支援を得て晴れて医師になられ、たくさんの方たちの治療にあたられたそうです。そんなお母様の遺志を引き継がれたすみれさんが、「慈善団体へ寄付してほしい」という遺書を遺され、他界されました。そして、いとこの方たちのご協力によりキャンヘルタイランドへご寄付をいただくこととなりました。親子2代に渡り遺志がつながれ、はるか遠いタイの子供たちへの支援につながり、とても感動しました。奨学生たちがすみれさんの遺志を忘れず、次の世代にも引き継ぎ、タイ人のタイ人による支援ができるようになることを心から願って



います。

図書支援プログラムでは、可児市の絵本コンテストに4作品を応募し「蝶ちゃんの光」が奨励賞を受賞しました。これは、美術教師とその子供による共同のしかけ絵本です。実際の絵本を見ましたが、短冊のようになった紙を引っ張ると違う絵になり、色も鮮やかで繊細に描かれ素晴らしいものでした。

今年度、20周年記念イベントを計画しておりましたが、運営委員の減少により実施が困難となりました。その代わりに、イベントではなく、生徒の送迎用トラックの贈呈などにしようかと考えています。

来年度のワークキャンプは日本人ボランティアは募集せず、資金の支援のみとします。

また、奨学金は、200名以内で昨年と同程度、すみれ基金は5月に奨学生を決定し、即支給を開始します。

図書プログラムでは、「蝶ちゃんの光」を出版予定で、現在、タイの出版社と日本の出版社で見積もりをとっていますが、予算を超える場合は中止します。

少数民族支援は、ワークキャンプは実施しませんが、寮の改修工事のための資金援助をする予定です。



総会の議事とははずれますが、今回の東北大地震に関して、キャンヘルプタイランドの奨学生やワークキャンプ先の子供たちから、FREEへキャンヘルプタイランドの日本人ボランティアの安否を気遣ったり、「募金をしたいんだけど、どうしたらいいの？」「被災された方にお手紙や絵を描いて送りたい。」という問い合わせが多くあったそうです。キャンでは、手紙の翻訳などのお手伝いをするを考えています。募金はFREEが集めて寄付することになりました。タイの子どもたちは色遣いが鮮やかでとてもきれいで元気な絵を描くので、東北の方たちの心を和ませてくれると思います。

また、タイ国内では、バンコク最大の貧民街の子供たちが日本への募金をしていたり、銀行のATMでも日本への募金を呼び掛けるメッセージが常に流れ、街頭募金など至るところで寄付を集めてくださっているそうです。世界中からの支援を心より感謝しています。

大矢 まゆ美

予算書訂正版

	2010 年度予算	2010 年度実績	2011 年度予算
換算レート	2.77	2.70	2.70
国内収入 (円)			
前年度繰越金	9,837,755	9,837,755	17,122,660
奨学金プログラム(※)	2,000,000	11,550,000	1,500,000
山岳部少数民族支援プログラム	100,000	50,000	100,000
給食プログラム	100,000	95,000	100,000
建設プログラム	100,000	30,000	100,000
図書支援プログラム	30,000	6,000	30,000
基金・指定なし寄付	500,000	565,955	500,000
その他(利息収入等)	3,000	621	3,000
助成金	500,000	0	0
ワークキャンプ・ツアー	800,000	370,000	700,000
会費	200,000	177,000	200,000
計	14,170,755	22,682,331	20,355,660
国内支出 (円)			
タイへの送金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
会員事業	200,000	0	0
その他(経費等)	700,000	559,671	700,000
次年度繰越金	8,270,755	17,122,660	14,655,660
計	14,170,755	22,682,331	20,355,660
タイ収入 (Baht)			
前年度繰越金	4,958,002.12	4,958,002.12	5,616,817.62
日本からの送金	1,800,000.00	1,772,375.00	1,800,000.00
奨学金プログラム	0.00	0.00	0.00
給食プログラム	0.00	0.00	0.00
建設プログラム	0.00	0.00	0.00
図書支援プログラム	0.00	0.00	0.00
ワークキャンプ	0.00	0.00	0.00
その他(利息収入等)	50,000.00	42,283.38	50,000.00
会費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
計	6,809,002.12	6,773,660.50	7,467,817.62
タイ支出 (Baht)			
奨学金プログラム(Free)	550,000.00	485,618.00	500,000.00
すみれ基金(Free)	0.00	0.00	126,000.00
山岳部少数民族支援プログラム (Free)	120,000.00	120,000.00	120,000.00
給食プログラム(Free)	40,000.00	40,000.00	40,000.00
建設プログラム(Free)	150,000.00	150,000.00	120,000.00
図書支援プログラム(Free)	10,000.00	10,051.00	100,000.00
ワークキャンプ他ツアー	300,000.00	48,739.00	18,000.00
20周年記念事業	0.00	0.00	370,000.00
経費他支出	100,000.00	26,434.88	100,000.00
Free 委託費	276,000.00	276,000.00	276,000.00
補正予算	100,000.00	0.00	0.00
次年度繰越金	5,163,002.12	5,616,817.62	5,697,817.62
計	6,809,002.12	6,773,660.50	7,467,817.62


※奨学金プログラムの国内収入にはすみれ基金の寄付金が含まれています。


活動報告 1


～すみれ基金奨学生決定～


報告者 大矢 治夫


昨年 11 月に、すみれ基金奨学生応募締め切りをした 100 名以上の候補者を書類選考、電話による聞き取り調査によって、10 名の候補者に絞込み、今年 3 月に「すみれ基金奨学生選定委員によって第一回すみれ基金奨学生 5 名が決定されました。選ばれた 5 名の奨学生をご紹介します。

氏名	年齢	性別	成績	志望学部	レベル	支援年数
Chutima Saisud	20	女	4	土木工学	大学編入	3 年
	出身地				積極性	
	東北部マハサラカム県				とても高い	
	父親が亡くなって、再婚した母親の家庭経済は困窮している。学生は成績優秀で優等生奨学金の給付を受けている					

氏名	年齢	性別	成績	志望学部	レベル	支援年数
Jitlada Somaai	18	女	3.75	教育学	大学	5 年
	出身地				積極性	
	中部ウタイタニ県				とても高い	
	両親離婚して母子家庭、母親死亡して祖母が養育。休みの日に近くの肥料工場で働く。優等生奨学金を受けている					

氏名	年齢	性別	成績	志望学部	レベル	支援年数
Waipoj Siriwong	17	男	3.78	畜産	短大	2 年
	出身地				積極性	
	北部メイホンソン				中	
	父親は死亡、母親は再婚、現在学生寮に住んでいる。企業実習で収入得る。将来自分のファームを持つのが夢。					

氏名	年齢	性別	成績	志望学部	レベル	支援年数
Wanida Sae-hur	19	女	3.9	経営学	大学	2 年
	出身地				積極性	
	中部パッチャブン県				少	
	両親は死亡。兄、姉、弟と暮す。家庭経済苦しい。休みの日には工場で働く。短大より大学進学希望。					

氏名	年齢	性別	成績	志望学部	レベル	支援年数
Prapan saesong	18	男	3.8	畜産	短大	2年
	出身地				積極性	
	北部メイホンソン				とても高い	
	両親は離婚して、父方親戚で養育される。農業短大に進学し、将来大学でも学びたい。養豚事業が希望。					

注)タイの成績評価は4点満点。

すみれ基金の奨学生には 26,000bt/年間の奨学金と勉強の為の費用として 6,000bt/年間社会貢献活動費用として 5,000bt/年間の合計 35,000bt を給付いたします。奨学生が将来地域社会に貢献出来る人材に育ててくれること、そして自分の夢を実現出来ます様、頑張ってください。心より応援いたします。

連載

～石井さん（運営委員）のタイ豆知識 Vol.4～

花祭り

日本では4月8日を「仏誕節＝花祭り」と称し「お釈迦様」の誕生を祝います。釈迦像に「甘茶」を掛ける行事です。私が子供の頃（70年前）は、幼稚園や小学校で、祝った記憶があります。

タイ国には「5大仏教行事」の1つに「ウィサーカブーチャー」があります。日本と違うのは、陰暦6月（西暦では4～5月）の満月の日に、釈迦が生まれ、悟りを開き、亡くなった（同じ日に起こったと言われている）ことで、「降誕会」「成道会」「涅槃会」をこの日に全て行います。

ソクラーン（タイ正月）

タイ国では、水に関係の深いお祭りがいくつかあります。

特に4月13日から15日までのお祭り「ソクラーン」は、「水掛け祭り」と呼ばれ、タイ人は勿論のこと外国人旅行者にも、人気のある「参加型」行事でしょう。またこの期間は「タイ正月」とされています。

「ソクラーン」と言うのは、サンスクリット起源の言葉で「通過する・移動する」の意味で、インド暦から天文学的事象の、太陽が新しい星座に入っていくことを指し、特に「白羊宮＝おひつじ座」に入っていくのを「マハ・ソクラーン＝大ソクラーン」と言い、この日を新年の始まりとしました。

もともとはバラモンの「雨乞い儀式」が、仏教に取り入れられ、仏像に水を掛けたことに始まったと言われています。儀式そのものは静かなもので、村人達は「タンブン＝功德」のために、お寺に向かいます。銀の容器の中に香料を溶いた水をいれ、花びらを浮かせたものを、仏像に掛け本堂に入ります。本堂で和尚の説教を聞き、村人達の安全を祈願します。また「降霊」の儀式も行います。儀式が終わり境内に出て、村の年配者達を円陣の椅子に座らせ、若者が手に水を掛けていきます。年配者を敬う日でもあります。また各家庭でも、親・兄弟や近所の人達も集まり、お互いに水を掛け合い幸を祈るものでした。（目上から目下にはし

ません)夜はお寺の境内で、「モーラム」が開催され村人は一緒になって、踊ったり飲んだりして一夜を明かします。

またこの期間は、都会に「出稼ぎ」の多くの人達が里帰りします。(日本の盆・正月以上の大移動)いつの頃からか静かな祭りが、一番暑い時期でもあり、「水掛け」が無礼講でもあることからか、若者の間でエスカレートし、(欧米人の馬鹿騒ぎの影響か・・)水掛け合戦の体をなすようになりました。特に「チェンマイ」は過激なグループが多く、車や放水銃を使って機動的になり、怪我人も出る始末です。伝統的祭りや行事は、形や内容を替えずに後世まで残したいものですね。

また毎年問題になるのは、「酒飲み運転」と「交通事故」による死傷者の数です。毎年3~400人の死亡者と4,000人以上の怪我人が出ています。

タイ国で地震は起きるのか

日本国民は昔から「地震・雷・火事・おやし」と。地震の怖さは一番に子供の頃から伝え聞いています。しかし今回3月11日発生地震は、専門家も想定外の「震度と広域」で発生し、追い討ちをかけるような「津波」が、壊滅的被害をもたらしました。それにも増して「福島原発」の沈静化は、4月15日現在次々と起きる問題に、なかなか適切な対処が進まぬ状況です。被災地は勿論この影響は、海外にまで波及しています。一日も早い収束を心から願うのみです。

タイ国王・王妃両陛下およびシリントン王女殿下からお見舞いの言葉

在タイ日本大使館HPに両陛下のメッセージ(英語及びタイ語)シリントン王女のメッセージ(英語)が掲載されています。また王女のメッセージは「共同通信社」提供の日本語訳も併せて掲載されています。また一般市民からの「応援メッセージ」や、義援金活動も活発に行われています。

北部タイで「地震」を感知

日本では、あまり報道されていませんが、AFP通信によりますと、3月24日(現地時間)20時25分頃に、北部タイとの国境に近いシャン州東部タチレクの北40kmの地点で、マグニチュード6・8震源の深さ10kmの地震が発生しました。200棟の建物に被害が出、25人が死亡した模様と報じられました。またタイ国境の町メサイで、液状化現象や亀裂があり、800kmも離れたバンコクでも、揺れを感じたようです。日本のような頻度ではありませんが、過去に大地震があった証拠として残されたものが、チェンマイの「ワット・チュディ・ルアン」です。高さ80mもある大きな「仏塔」ですが、基壇部分のみを残し崩壊しています。これは西暦1545年の大地震によるものです。さかのぼって西暦466年には、北部チェンカンで大地震が起き、王をはじめ多くの住民が死亡し、4つの村落が水没した記録もあります。タイ鉱物資源局・気象局によれば、タイ国内で確認されている「活断層」は13あり、中部カンチャナブリ県の「チュディサムオン断層」北部チェンマイ県の「メータ断層」と「メーチャン断層」では、マグニチュード6-7の地震が起きる可能性が高いと公表されています。特にカンチャナブリで地震が発生すれば、首都バンコクは深刻な被害が予想され、特に耐震構造基準を下回る建築物の多い市街地の被災が懸念されます。

運営委員 石井 満

運営委員会

(2011年2月～2011年4月)

活動	月日	場所	内容
運営委員会	2月26日	事務所	3月のワークキャンプ中止について
総会	3月27日	事務所	2010年度総会
運営委員会	//	//	NT通信53号について
運営委員会	4月23日		休み

運営委員募集中!

一緒にキャンヘルプタイランドの運営に参加してみませんか?

通常は毎月第4土曜日に事務所に集まり、会の運営について話し合っています。見学でも結構ですので是非事務所へ遊びに来てください。

次回の運営委員会は 5月28日(土) 13:00～ (事務所にて) です。

編集後記

▼大震災が起こりました。

タイの学生から「キャンの関係者は大丈夫ですか?」や「義援金を送りたいけどどうしたらいいですか?」などたくさんの連絡がタイの関係事務所に寄せられました。一方通行ではないタイの人たちとの関係に感動しました。また、こんな時でも奨学金の寄付を振込んでくださるドナーの皆様にも感謝しております。

<キャンヘルプタイランドネットワーク通信 Vol.53>

発行 キャンヘルプタイランド

発行人 西川 弘達

編集人 坂 茂樹

発行日 2011年4月30日

住所 〒450-0003

名古屋市中村区名駅南2-11-43

NPOステーション内

Tel & fax 052-566-5131

(OPEN: 毎週火、木・土曜の13～16時頃)

E-mail: canhelp@npo-jp.net

ホームページ: <http://www.canhelp.npo-jp.net>